



Kudan株式会社 (4425)

成長可能性に関する説明資料 2018年12月

1 | 会社概要

2 | 競争優位性

3 | 成長戦略

事業内容

コンピュータ・ロボットに視覚を付与する人工知覚（Artificial Perception）アルゴリズム・組込要素技術の研究開発と提供

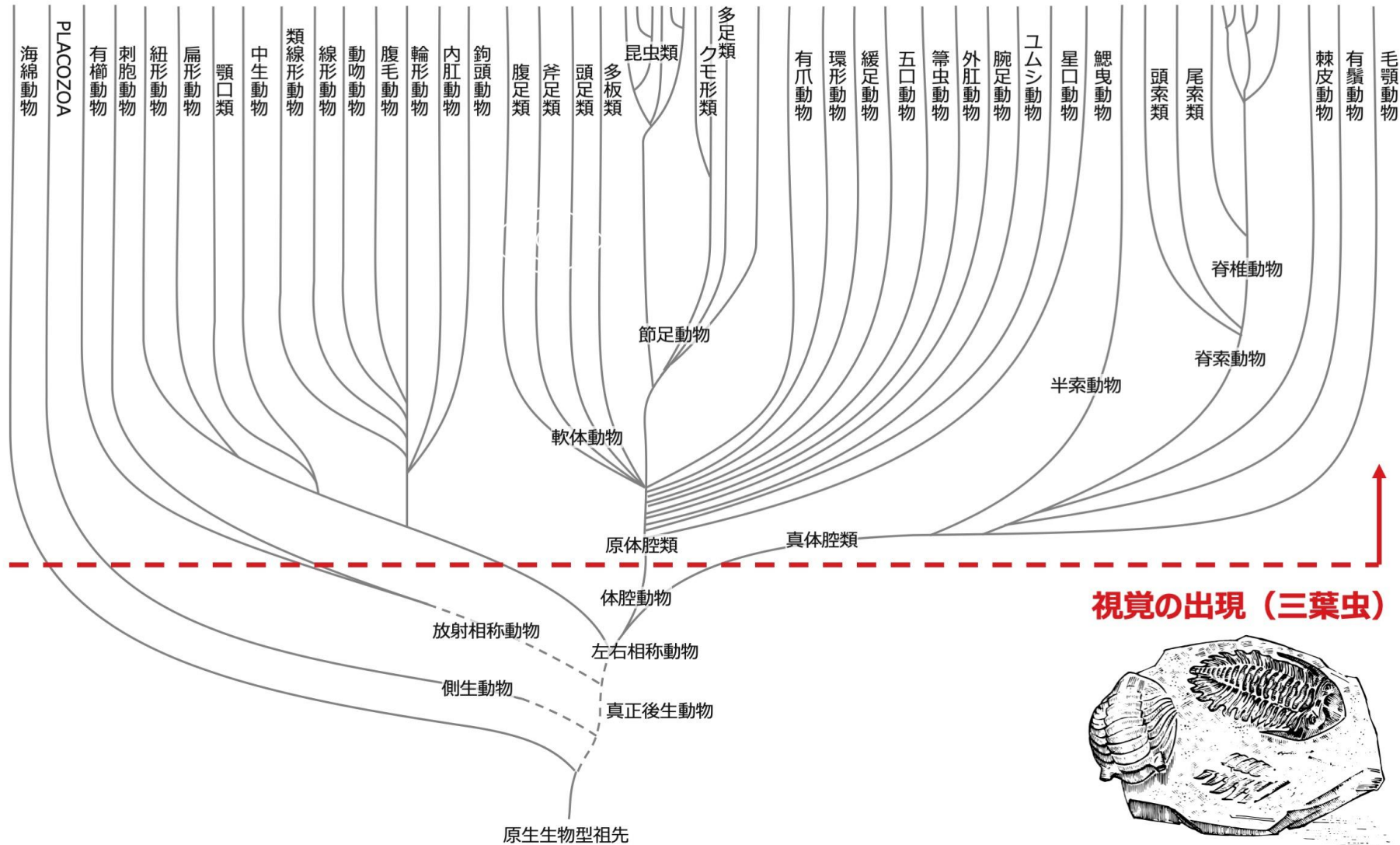
会社概要

会社名	K u d a n株式会社
設立	2014年11月
所在地	東京都新宿区新宿
セグメント	AP事業
資本金	261,355千円
拠点	日本東京、英国ブリストル

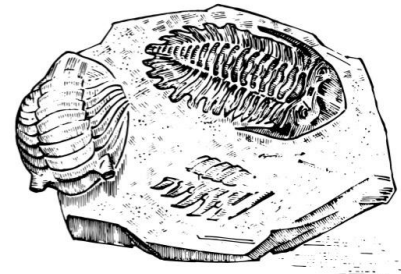
経営陣紹介

CEO	大野 智弘	アンダーセン・コンサルティング（現アクセンチュア）を経てKudanを創業
CTO (Kudan Limited)	John Williams	独立研究者（コンピュータビジョン組込技術）を経て現職
CFO	飯塚 健	新日本監査法人（現EY新日本監査法人）を経て現職
COO	項 大雨	トヨタ自動車、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て現職

生物は「眼」の発生から進化が急加速し、種が爆発的に増大した（カンブリア大爆発）
Kudanは機械に「眼」を与えることで、あらゆる科学技術・産業分野の進歩を促進する

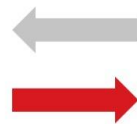


視覚の出現（三葉虫）



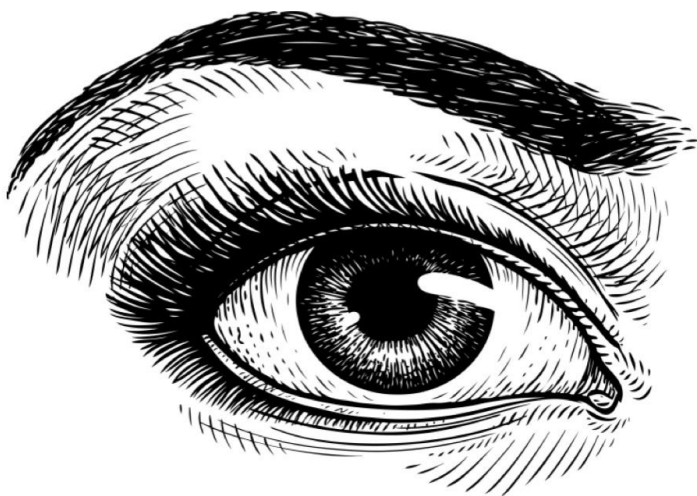
機械 (コンピュータ・ロボット) にとって、「眼=人工知覚」と「脳=人工知能」は、**最重要な技術要素として相互に連動・補完し、機械の自律的な行動や機能を実現する**

人工知覚
(Artificial Perception)

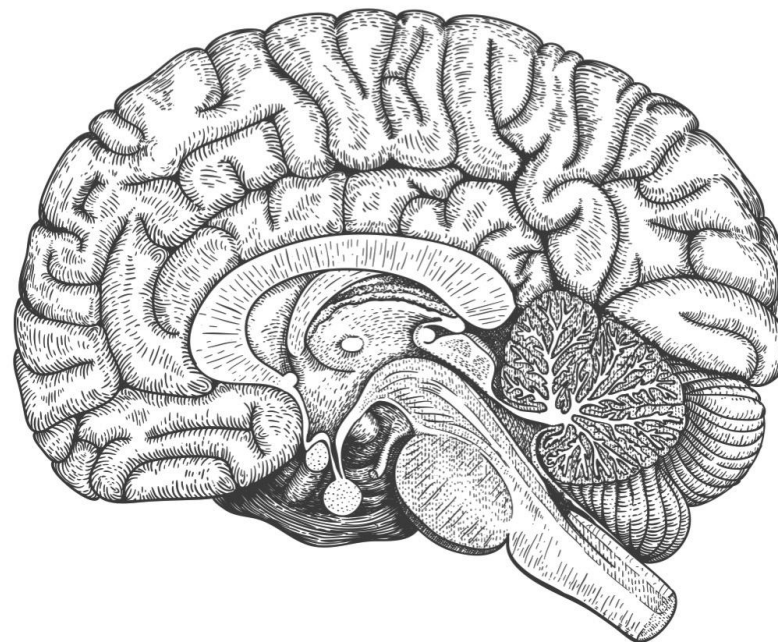


人工知能
(Artificial Intelligence)

||
周囲を理解する機械の「眼」



||
適切な判断を下す機械の「脳」



高次元空間・位置把握のための認識技術 (SLAM /ALAM /VIO /SfM等) とより高度な応用を目的とした関連技術の組み合わせからなる要素技術群

視覚入力 (空間把握・立体感覚) の処理

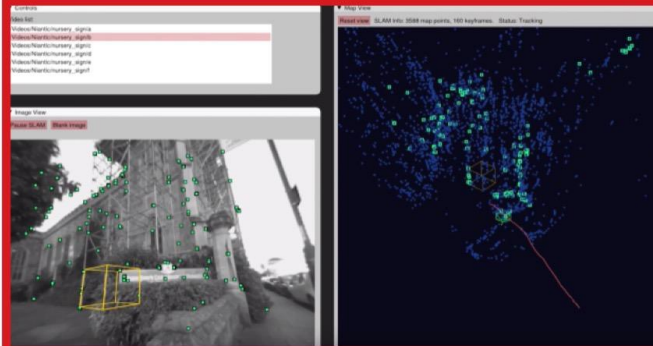
SLAM*1

(Simultaneous Localisation and Mapping)



ALAM*2

(Asynchronous Localisation and Mapping)



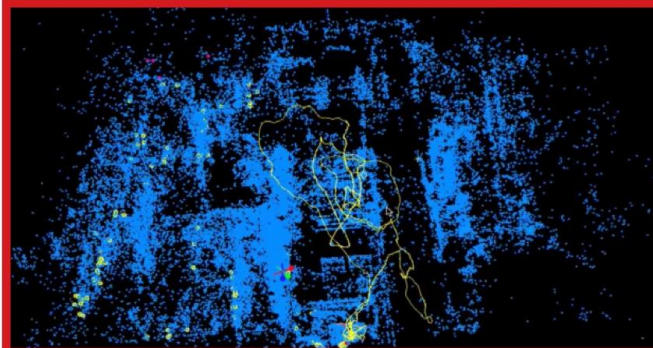
VIO*3

(Visual Inertial Odometry)



SfM*4

(Structure from Motion)



他感覚入力との連動

深度



慣性





















機械
オドメトリ



位置

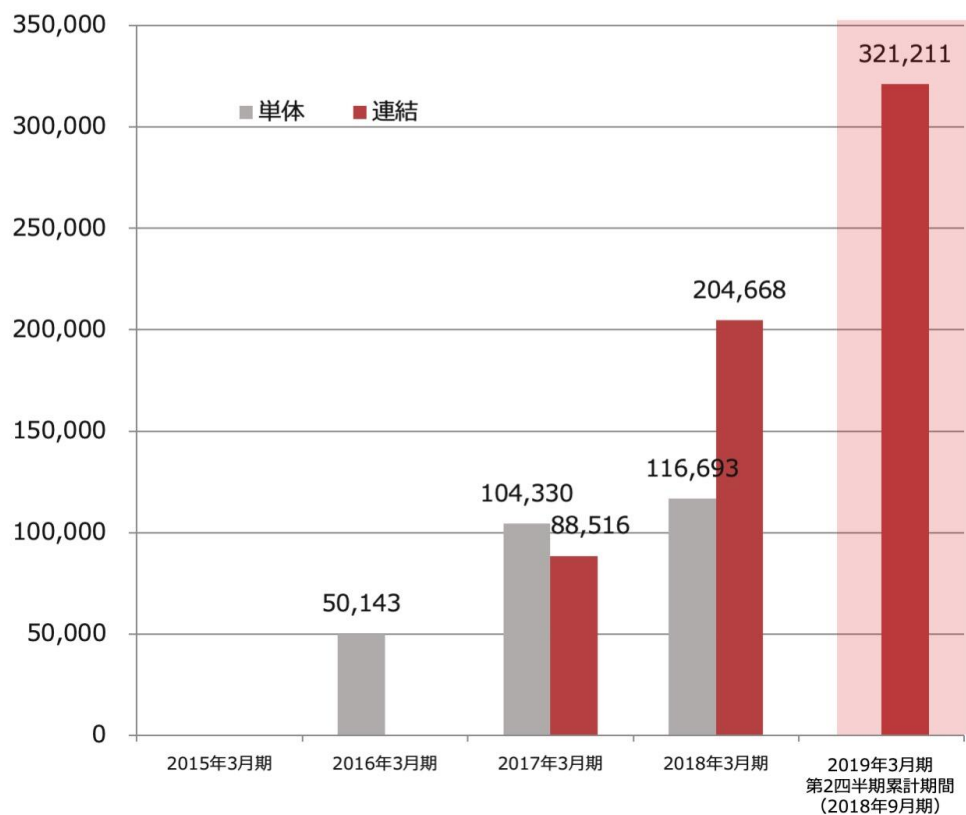


多様な市場とアプリケーションにわたって顧客基盤が拡大

	アプリケーション	主要顧客
 <p>AR*5/VR*6/MR*7</p>	 ヘッドマウント  モバイル  屋外XR  ゲーム  屋内XR	<ul style="list-style-type: none"> 総合電機メーカー スマートグラスメーカー ゲーム製作企業 ECプラットフォーム 通信機器メーカー 通信キャリア
 <p>ロボティクス/IoT</p>	 ロボットクリーナー  スマートホーム  ドローン  監視カメラ  産業	<ul style="list-style-type: none"> 信号処理IP イメージセンサーメーカー 産業用ロボットメーカー 重工メーカー 輸送機器メーカー 光学機器メーカー
 <p>自動運転/デジタル地図</p>	 ADAS  自動運転  ナビゲーション  ダイナミックマップ  スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車メーカー 自動車部品メーカー デジタル地図 空間情報コンサルティング 光学機器メーカー

売上高の推移

(千円)



経常利益又は経常損失(△)

(千円)

